

## 転職サービス「doda」、「正社員の年収中央値」を公開 正社員の年収中央値は350万円。

～女性の年収中央値は、29歳から50歳半ばにかけてわずか10万しか上がらず。出産や育児などが影響か～

パーソルキャリア株式会社が運営する転職サービス「[doda \(デューダ\)](https://doda.jp)」（編集長：大浦 征也）は、「**正社員の年収中央値**」を発表しましたので、お知らせいたします。本調査は、2021年9月～2022年8月の1年間に転職サイト「doda」のサービスに登録した約56万人のデータを元に、正社員としてはたらく20歳～65歳までのビジネスパーソンの年収中央値をまとめたものです。なお、正社員の平均年収については、「平均年収ランキング2022」にて公開しています。

### ■調査結果詳細：

「**正社員の年収中央値2022**」 <https://doda.jp/guide/heikin/median/>

「**平均年収ランキング2022**」 <https://doda.jp/guide/heikin/>



### 【主な調査結果】

#### ◆ 年収中央値

- 正社員の年収中央値は350万円。約半数は年収400万円未満という結果に。
- 男性の年収中央値は400万円（平均年収：449万円）、女性の年収中央値は303万円（平均年収：347万円）。

#### ◆ 年齢別 年収中央値の推移

- 男性の年収中央値は、40歳手前まで年齢とともに緩やかに上昇傾向。
- 女性の年収中央値は30歳手前で上昇がストップし、50代半ばまで350万円～360万円で推移。出産や育児のために仕事をセーブすることや、昇進者の少なさが影響か。

#### ◆ 職種・業種別年収中央値ランキング

- 職種別で見ると、年収中央値の1位は「医師」で855万円（平均年収：1,027万円）。
- 業種別で見ると、年収中央値の1位は「たばこ」業界で700万円（平均年収：769万円）。

■日本ではたらく正社員の年収中央値

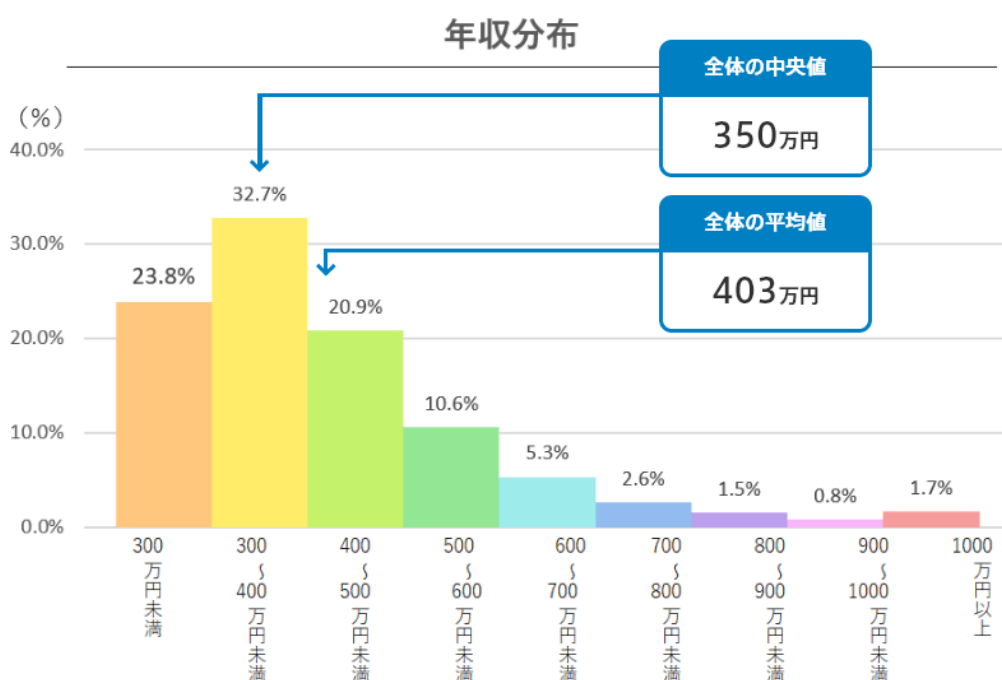
中央値とは、データの「位置関係」を軸にした値です。データを大きき順に並べたときに、ちょうど「中央にある値」を指します。平均値の場合、極端に年収が高い人がいれば平均年収が引き上がりますが、中央値ではその影響を受けません。

正社員の年収中央値は350万円。

約56万人のデータの年収中央値は、350万円でした。年収分布を見ても、300万円～400万円の層が多いことが分かります（図①）。一方で、平均年収は403万円でした。平均値が中央値を上回ったのは、年収が高い層が平均値を引き上げたためです。

なお、男女別で見ると、男性の年収中央値は400万円（平均年収：449万円）、女性の年収中央値は303万円（平均年収：347万円）となりました。

【図①年収中央値の分布】



転職サービス「doda」、「正社員の年収中央値2022」（2023.2）

■年齢別 年収中央値の推移

男性の年収中央値は、40歳手前まで年齢とともに緩やかに上昇傾向。一方、女性の年収中央値は29歳で上昇がストップし、50代半ばまで350万円～360万円を推移。

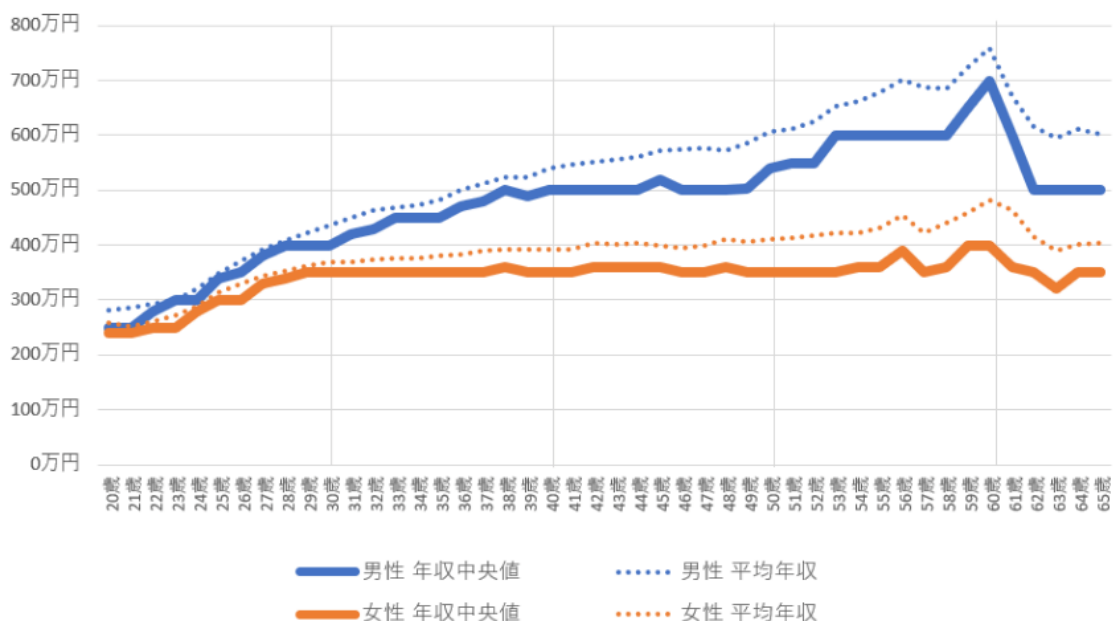
年齢別で年収中央値を見てみると、20代前半から後半にかけて年収が上昇傾向にあることがわかります（図②）。しかし、30歳ごろを境に男女で傾向の違いが見られました。

男性は、40歳手前まで平均値と中央値であまり差がなく、年齢が上がるにつれて年収も伸びています。しかし40代になると、平均値は上昇傾向にあるものの、中央値は500万円のまま横ばいの状態が続いています。

女性は、30歳手前までは平均値と中央値であまり差がなく、年収は上昇傾向にあります。しかし、年収中央値は29歳以降横ばいの状態が続き、50代半ばまで350万円～360万円を推移しています（図②、表①）。これは、ライフスタイルの変化によって仕事量を調整していることや、昇進する人が少ないことが理由として考えられます。

なお、男女ともにピークは60歳となっています。60歳以降は、再雇用や再就職をする人が多いこともあり、年収が下がる傾向にあります。

【図②年齢別の年収中央値と平均年収】



転職サービス「doda」、「正社員の年収中央値2022」（2023.2）

【表①年代別の年収中央値と平均年収】

年代	全体		男性		女性	
	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値
20代	310万円	342万円	350万円	365万円	300万円	319万円
30代	400万円	435万円	450万円	474万円	350万円	377万円
40代	450万円	495万円	500万円	562万円	350万円	400万円
50代以上	500万円	596万円	600万円	658万円	360万円	424万円

転職サービス「doda」、「正社員の年収中央値2022」（2023.2）

■職種・業種別年収中央値ランキング

職種別：年収中央値の1位は「医師」で855万円。

年収中央値が高い職種を見てみると、最も高いのは「医師」で、855万円でした（平均年収：1,027万円）。「医師」は中央値と平均値の差が全職種で最も大きい結果となりました。これは、担当領域が多岐にわたるため、年収の差が生じたと考えられます。2位は「運用（ファンドマネジャー／ディーラー）」で710万円（平均年収：845万円）、3位は「投資銀行業務」で700万円（平均年収：850万円）でした。

【表②職種別 年収中央値ランキング】

順位	職種名	職種分類名	中央値	平均値
1	医師	技術系（メディカル／化学／食品）	855万円	1,027万円
2	運用（ファンドマネジャー／ディーラー）	金融系専門職	710万円	845万円
3	投資銀行業務	金融系専門職	700万円	850万円
4	MR	営業系	650万円	700万円
4	プロジェクトマネジャー	技術系（IT／通信）	650万円	686万円

転職サービス「doda」、「正社員の年収中央値2022」（2023.2）

**業種別：年収中央値の1位は「たばこ」業界で700万円。**

年収中央値が高い業種を見てみると、最も年収中央値が高いのは「たばこ」業界で、700万円（平均年収：769万円）でした。2位は「投信／投資顧問」で600万円（平均年収：768万円）で、全業種の中で最も平均値との差が大きいことから、収入の個人差が大きい業界であると言えます。3位は「医薬品メーカー」で550万円（平均年収：617万円）でした。

【表③業種別 年収中央値ランキング】

順位	職種名	職種分類名	中央値	平均値
1	たばこ	メーカー	700万円	769万円
2	投信／投資顧問	金融	600万円	768万円
3	医薬品メーカー	メディカル	550万円	617万円
4	財務／会計アドバイザー（FAS）	サービス	500万円	584万円
4	トイレタリー	メーカー	500万円	552万円
4	証券会社	金融	500万円	575万円
4	総合電気メーカー	メーカー	500万円	545万円
4	医療機器メーカー	メディカル	500万円	537万円

転職サービス「doda」、「正社員の年収中央値2022」（2023.2）

■ 調査概要

【対象者】2021年9月～2022年8月末までの間に、dodaサービスに登録した20～65歳の男女

【雇用形態】正社員

【有効回答数】約56万件

※年収中央値、平均年収：手取りではなく支給額

※順位算出：年収中央値（万円）で順位づけ

■ [転職サービス「doda」](https://doda.jp) について < <https://doda.jp> >

「doda」は、「はたらく今日が、いい日に。」をスローガンに、転職サイトや転職エージェント、日本最大級のdoda転職フェアなど、各種コンテンツで転職希望者と求人企業の最適なマッチングを提供しています。